



アルカディア・グレースホール

この度公益財団法人アルカディア音楽芸術財団は、芦屋市で最も名誉ある平成26年度『芦屋市民文化賞』を受賞し、11月3日(文化の日)に芦屋市長 山中健様より贈呈されました。皆様への御礼と感謝を込めて、これまでの音楽芸術活動を思い起こしてみたいと思います。



アルカディア・グレースホールに常設している
スタインウェイ・ハンブルグ製
O型180「ルイ15世モデル」

当財団は来年創立35周年、財団設立19年、公益財団法人移行5年を迎えます。独唱者や独奏者、室内オーケストラ、混声合唱団や女声合唱団を

率いて、主催公演や依頼公演で年間20回程度の演奏会を芦屋市を拠点として関西各地で開催しています。病院や老人ホームの慰問コンサート、関西各地の小、中、高等学校公演も行い、地域住民に身近な演奏を提供し音楽の普及振興に努めています。

また海外では、ヨーロッパ、アメリカ、アジア、オーストラリア、中米の各地に外務省や音楽祭から招かれて、16回の海外公演を実施し、アフリカを除く世界の大陸で公演しました。

私は大学を卒業してすぐにドイツに留学し、3年半の間フルートの研鑽を積み、同時に市立音楽学校2校のフルート講師を務め、またドイツ各地のコンサートホールや教会で数多くのコンサートに出演しました。ドイツで学んだバロック音楽や宗教音楽等クラシック音楽の魅力を、日本でも多くの人に伝えたいという熱い思いから、当財団を創立する事に致しました。



第19回アルカディア定期演奏会

チェコの名ヴァイオリニスト
ヴァツラフ・フデチェックと中村八千代

—いづみホールにて— 2000. 11. 26



関西各地で好評を博している『ソプラノ、フルート&ハープのひとつとき』のステージ（県民芸術劇場公演）
 -兵庫県福崎町エルデホールにて- 2009. 10. 4

帰国後すぐに、大学の後輩でソプラノ歌手の寺本郁子さんと、合唱団やオーケストラの団員を集めて演奏活動を始め、16年後の1996年に財団法人の認可を得て、さらに2010年内閣府より公益財団法人の認定を得ました。
 全ての主催演奏会には盲導犬同伴などの視覚障がい者の方々をご招待して、点字や拡大のプログラム等も作成し配布しています。
 視覚障がい者の方々に盲導犬同伴でコンサート会場に来て頂くという事業は、まだ介助犬に対する理解が少ない今から21年前の1993年に、クラシック音楽界では私達が最初に始めた事でした。



芦屋市長 山中 健様より平成26年度『芦屋市民文化賞』の賞状とクリスタルの楯を贈呈される中村八千代と寺本郁子
 -芦屋市民センターにて- 2014. 11. 3



デュオ・リサイタルのステージ
 恩師ブルグハルト・シェファー教授と中村八千代
 -ドイツ ヴュルツブルグ市バロックの宮殿のレジデンツ(世界遺産)のトスカーナ・ホールにて-
 1982. 6. 29

さらに18年前からは、『盲導犬とともに音楽を愛でる会』というコンサートも開催し盲導犬育成のための寄附も始めました。
 海外公演も財団の柱としている大切な事業で、これまでヨーロッパはドイツ、イタリア、オーストリアの各地、アジアはシンガポール、バングラデシュ、そしてアメリカやカナダの各地と中米のグアテマラやオーストラリア各地で演奏をして来ました。
 外務省や各国大使館からの依頼を受け、ソプラノの寺本郁子さん、私のフルートとピアニストの3人で、中米のグアテマラやアジアの最貧国バングラデシュのような開発途上の国々でも公演する

機会を得ました。2003年の公演当時のグアテマラは、36年間続いた内戦が終結して間もなく、治安が不安定でした。その為私達の行動には24時間武装した警察官が護衛して下さいました。200年以上前のコロニアル様式の劇場でのリニューアル柿落とし公演は、満員の観客からの熱狂的なスタンディング・オベーションで、無事に終える事が出来ました。内戦の終結後、まだまだ人々の生活は安全で平和にはなっていませんでしたが、音楽を通して両国の心の交流は一気に広がり深まったと感じました。音楽の持つ素晴らしい力によって両国間の友好や交流を深める事が出来、音楽の持つ大きな使命の一端を果たせたように思いました。

2年前の2012年12月に新しい事業が加わる事となりました。長年の悲願でもありました財団活動の本拠地となる『アルカディア・グレースホール』と『アルカディア・マリーサロン』を阪急『芦屋川』駅前に開館致しました。

これまでは、演奏会の開催と音楽指導という音楽に関する事業を行ってきましたが、ホール開館後は音楽を中心に芸術、学術の分野にも事業を展開しています。

ホールとサロンのどちらも、広く一般に貸館として活用して頂いています。ホールやサロンでは、コンサート開催のみならず講演会、会議、レクチャー等にもご利用頂いています。

このホールとサロンがグローバルな文化の発信地点となり文化向上に貢献して、演奏者や聴衆の皆様にも長く愛されるホールとなりますよう願っています。アルカディアとは、古代ギリシャの山間にあったという理想郷・ユートピアの事です。そこでは、人々が音楽や芸術を愛して平和に暮らしていたそうです。創立当初から平和な社会の理想郷の音楽を目指してこの名前を付けました。

障害や国籍にかかわらず、音楽は人の心に大きな喜びを与えます。

この度の栄えある受賞を大きな励みとさせて頂き、今後も一人でも多くの方々に喜びと感動を実感して頂けますよう、地域や人々を大切にして、魂に響く至福の音楽を届けたいという願いを込めて、音楽芸術活動を続けていきたいと思っています。

最後になりましたが、これまで財団の成長を見守り温かく支えて下さいました多くのサポーターの皆様方に、心から厚く御礼と感謝を申し上げます。

地元芦屋よりこのような有難い評価を頂く事が出来た事は、皆様方からのお力添えの賜物と厚く御礼申し上げますとともに何より光栄な事と感謝の気持ちで一杯です。

財団一同今後なお一層精進して、ご期待にお応え出来るよう努力してまいりますので、これまで同様に温かいご支援、お力添えを賜われますよう、何卒宜しくごお願い申し上げます。